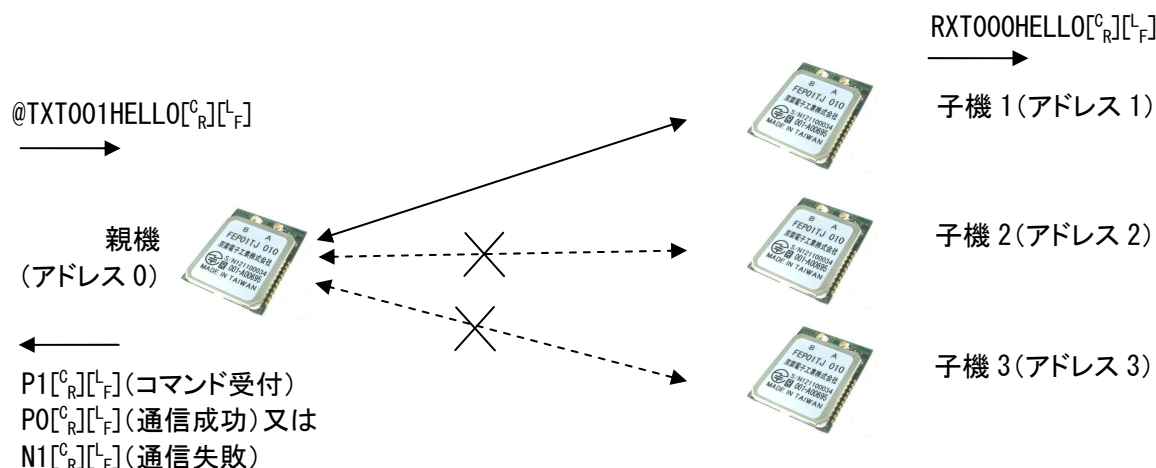


パケット送信モード

1. システム構成

規定のコマンドフォーマットに従って、データを送信・受信します。通信結果のレスポンスを返すので、送信側で通信成功/失敗を判断できます。1:1、1:N、N:M 通信が可能です。

参考:RS232C を使用する場合は、スタータキットをご利用になれます。



2. レジスタ設定

パソコンとスタータキットを RS232C ストレートケーブルで接続して、Futaba Term などのターミナルソフトを使い、REG コマンドでレジスタを設定する例を示します。

【親機】	
REG00:00H	アドレス 0
REG01:F0H	
REG02:00H	
REG03:F0H	パケット送信モード
REG04:00H	
REG05:00H	
REG06:03H	周波数グループ:3 波モード (REG07、08、09)
REG07:18H	周波数 1 (24ch)
REG08:2AH	周波数 2 (42ch)
REG09:3CH	周波数 3 (60ch)
REG10:01H	
REG11:0AH	再送回数:10 回
REG12:50H	
REG13:00H	
REG14:00H	
REG15:00H	
REG16:00H	
REG17:64H	
REG18:8FH	
REG19:00H	
REG20:00H	有線設定:9600bps, 8bit, パリティなし, 1stop bit
REG21:09H	
REG22:0FH	
REG23:00H	
REG24:C1H	
REG25:0FH	
REG26:01H	
REG27:FFH	
REG28:FFH	

【子機 1】	【子機 2】	【子機 3】
REG00:01H アドレス 1	REG00:02H アドレス 2	REG00:03H アドレス 3
REG01:FOH	REG01:FOH	REG01:FOH
REG02:00H	REG02:00H	REG02:00H
REG03:FOH 親機同様	REG03:FOH 親機同様	REG03:FOH 親機同様
REG04:00H	REG04:00H	REG04:00H
REG05:00H	REG05:00H	REG05:00H
REG06:03H 親機同様	REG06:03H 親機同様	REG06:03H 親機同様
REG07:18H 親機同様	REG07:18H 親機同様	REG07:18H 親機同様
REG08:2AH 親機同様	REG08:2AH 親機同様	REG08:2AH 親機同様
REG09:3CH 親機同様	REG09:3CH 親機同様	REG09:3CH 親機同様
REG10:01H	REG10:01H	REG10:01H
REG11:0AH 親機同様	REG11:0AH 親機同様	REG11:0AH 親機同様
REG12:50H	REG12:50H	REG12:50H
REG13:00H	REG13:00H	REG13:00H
REG14:00H	REG14:00H	REG14:00H
REG15:00H	REG15:00H	REG15:00H
REG16:00H	REG16:00H	REG16:00H
REG17:64H	REG17:64H	REG17:64H
REG18:8FH	REG18:8FH	REG18:8FH
REG19:00H	REG19:00H	REG19:00H
REG20:00H 親機同様	REG20:00H 親機同様	REG20:00H 親機同様
REG21:09H	REG21:09H	REG21:09H
REG22:0FH	REG22:0FH	REG22:0FH
REG23:00H	REG23:00H	REG23:00H
REG24:C1H	REG24:C1H	REG24:C1H
REG25:0FH	REG25:0FH	REG25:0FH
REG26:01H	REG26:01H	REG26:01H
REG27:FFH	REG27:FFH	REG27:FFH
REG28:FFH	REG28:FFH	REG28:FFH

《注意事項》

- レジスタを設定する前に、無線機を初期化することをお勧めします。
- レジスタ設定を反映させるには、**必ず@RST コマンドを入力**してください。
- シリアル通信条件を変更した場合、PC ターミナルソフトのボーレート、パリティ、スタート/ストップビットを設定した値に合わせてください。
- 複数の周波数を使用するグループモード(ここでは 3 波)を使用する場合、再送回数は使用する周波数の 2 乗倍以上の回数にしてください。

3. 通信手順

@TXT、@TBN コマンドを使って通信を行います。

(1) 親機(アドレス 0)から、子機 1(アドレス 1)への通信

```
[親機] > @TXT001HELLO[c][r][c][f] [子機 1] < RXT000HELLO[c][r][c][f]
[親機] < P1[c][r][c][f]
[親機] < P0[c][r][c][f](通信成功) 又は N1[c][r][c][f](通信失敗)
```

(2) 親機から全ての子機への通信(ブロードキャスト送信)

全ての無線機宛てに送信する(ブロードキャスト)には、宛先アドレスを「255」に指定します。

```
[親機] > @TXT255HELLO[c][r][c][f] [全子機] < RXT000HELLO[c][r][c][f]
[親機] < P1[c][r][c][f]
[親機] < P0[c][r][c][f]
```

《注意事項》

- ユニキャスト送信時は、宛先局からの ACK が返れば、その時点で再送は終了します。
- ブロードキャスト送信時は、設定した再送回数分送信して、レスポンスは必ず“P0”になります。
- P0/N1 が返る前に次のコマンドを投入すると、そのコマンドは破棄されます。コマンドが破棄された場合、そのコマンドに対するレスポンスが返りません。